

# 市議会だより No.23

平成23年11月15日



春日神社「庭神事」

## 9月定例議会

議案の概要	.....	P2
一般・特別会計決算特別委員会の報告	.....	P3
水道事業決算特別委員会の報告	.....	P3
一般質問	.....	P4～P9
常任委員会の報告	.....	P10

議会報告会のまとめ	.....	P11
10月臨時議会	.....	P12
議会日誌	.....	P14
12月定例議会の予定	.....	P14

# 平成23年 9月 定例議会

9月定例議会は、9月1日から9月30日までの会期30日間の日程で開催されました。

平成23年度一般会計補正予算および特別会計補正予算をはじめ市暴力団排除条例の制定、平成22年度一般・特別会計決算および水道事業決算の認定など、推薦1件、選任1件、承認1件、報告9件、認定2件、議案16件を審議しました。

主な議案とその審議経過の概要をお知らせします。

## 条例

### ■市暴力団排除条例を制定

市民が安全にかつ安心して生活できるまちづくりを実現するため、暴力団の排除について基本理念を定め、市、市民および事業者の役割を明らかにする条例を制定しました。

なお、自治基本条例に基づき、市民と事業者の定義を、条例に付け加え修正を全員一致で可決しました。

### ■議員定数の改正案を否決

議員定数を23人にする案と25人とする案が提案されましたが、賛成少数で否決されました。

（9ページ表の賛否No.3、4を参照）

## 人事

### ■人権擁護委員候補者の推薦

再任 吉村晴枝さん（大字西浦）

### ■教育委員会委員の選任

再任 香川敬さん（お茶屋町）

## 予算

### ■兄部家の火災にともなう調査経費

国指定史跡・宮市本陣兄部家の火災にともない、同家の調査および記録等に関

### ■平成23年度特別会計補正予算 競輪、国保など8つの特別会計補正予算を原案どおり可決しました。

## 決算

### ■平成22年度決算を認定せず

災害土砂処理委託契約における契約期間の大幅延長や、江良農地等災害復旧工事の未完成や、検査も不適切等の意見があり、採決の結果不認定としました。

なお決算審査については、3ページの一般・特別会計決算特別委員会の報告をご覧ください。

（賛否No.5）

### ■平成22年度水道事業決算を認定

市民のライフラインに関する業務を一部外国企業に委託することに反対との意見もありましたが、原案どおり認定しました。

（賛否No.6）

### 決算の認定

議会の決算の認定は、予算執行結果の確認の意味を持つもので、認定の効果は、行政部門における予算執行の責任を解除することにあります。従って、議会が決算を認定しない場合にも、決算の効力には影響を及ぼしません。しかし、市長を含む予算執行の担当者は、政治的、道義的責任を問われることとなります。



する経費2、800万円を補正する必要が生じましたが、専決処分により、補正しました。

### ■2つの修正案を可決

平成23年度一般会計の予算総額に、歳入歳出それぞれ1億1、050万1千円を追加し、補正後の予算総額は376億6、066万2千円となりました。

この補正予算のうち、不当要求行為等防止対策委員会専門員報酬について、市は顧問弁護士制度を設けており、この対応で十分と考えられるため、削除する修正案を賛成多数で可決しました。

（賛否No.1）

また、学校給食配送業務委託については、市直営でやるべきとして、委託料1億2、338万円の債務負担行為を削除する修正案を賛成多数で可決しました。

（賛否No.2）

### 一般・特別会計決算特別委員会の報告

(9月20日、21日、22日開催)

#### ■決算の概要

平成22年度一般会計決算は、歳入歳出差引額22億7千万円で、事業の繰越に伴う繰越財源を差し引いた実質収支は、19億9千万円の大幅な赤字となりました。

特別会計全体の決算は歳入歳出差引額13億7千万円の赤字で、事業の繰越が無いため実質収支も同額の赤字となりました。

#### ■委員の総括的な意見

▽公平委員等行政委員報酬は、県が日額化し、また、裁判の結果や全国的な日額化の進みもあり、早急に日額化を検討すること。

▽防災行政無線は、風の影響を受けやすく、屋内では聞こえにくい等の問題もあり、聞こえにくい地域に対しては、防災ラジオの無償配布等による情報の伝達方法への変更も検討すること。

▽多額の剰余金が出ており、予算編成、予算執行方法について検討すること。

▽12月には、その年度の収支見込みも可能と思われ、新年度当初予算への繰越剰余金の目途も立つことから、多額の不用額が見込まれる場合には、小・中学校の耐震化等の繰り上げ施行ができるよう不用額の精査をすること。

▽指定管理者制度については、今後どういう形で推移していくのか注視していくこと。

こと。

▽住民要望の多い、単市土地改良事業やカーブミラーの設置などの予算は十分でなく、市民生活に直接影響を与えるものについては、できるだけ応える形の予算組みをすること。

▽江良農地外災害復旧事業は、4月1日以降、現地調査した際には、田に不陸もあり、地権者にきちんと工事の説明がされていない。また、何度も工期延長がなされ、その理由には疑問を感じざるを得ない。

▽駐車場事業特別会計では、競争の激しい民間の駐車場が出来て、利用者が減少しており、将来に向けて事業の整理をすること。

▽公共下水道事業について、受益者負担を徴収しながら敷設が進まない箇所については、改善すべきであり、また、人口が減っている富海や大道地区への敷設は費用対効果を考えること。

#### ■決算は不承認

「江良農地の災害復旧は、現場を見て、工事が適正に行われたとは思えないが、行政は工事が完成したと強弁していること。災害土砂処理委託は、昨年10月臨時議会の『災害土砂分別・運搬業務委託契約の厳正な遵守を求める決議』が無視され、大幅な工期延長がされているが、それに対する違約金の請求がされていないこと。不用額17億4千万円については、住民のニーズを正確に把握していない。」等の反対意見がありました。

また、「災害土砂については、問題点があり、反省し、直していくべきだが、全体的には要望を実施してもらっている。江良農地について、疑義が残るが、決算全体を不承認とするのはどうかと思う。」等の賛成意見がありました。

採決の結果、賛成少数により、不承認としました。

### 水道事業決算特別委員会の報告

(9月6日開催)

水道事業会計決算に対する質疑等の主なものと結果を報告します。

#### ■水道管の耐用年数

「水道管の法定耐用年数は40年とされるが、40年以上経った管はどの程度残っているのか。」との質疑に対し、「平成22年度で、法定耐用年数を越えた管は49.5km、約8・5%です。法定耐用年数は、一般的に40年と言われていますが、全国でも70～80年使用しているところもあります。最近では、100年使用可能な铸铁管も出てきており、防府市でも現在はこの铸铁管と、100年は耐えるとの実験結果が出ているポリエチレン管を使用しています。」と答弁されました。

#### ■耐震化

「市の耐震水道管の割合はどうか。また、今後の取り組みについてはどう考えているか。」との質疑に対して、「水道管の耐震化率は基幹管路で36・2%、配水池で

85・2%であり、かなり耐震化は進んでいます。管路全体では、8%弱ですが、震度6強での被害想定は、断水率40%で、耐震化率は低いものの、安全度は高いという結果が出ています。また、

現在はずべて耐震性のある管路を使用しており、耐震化率は徐々に上がります。」と答弁されました。



耐震性のある管へ変更

#### ■企業債残高

「企業債残高は、平成22年度末で112億円と、前年度よりも改善され、水道ビジョンでは、10年かけて105億円までにするということだが、県内の平均は81億円である。今後は、節水意識の高まりや老朽管等の施設改良の問題もある中、具体的にどう企業債残高を減らしていくのか。」との質疑に対して「今後とも出来るだけ企業債の借入額を企業債の償還額以内抑え、事業を進めたい。」と答弁されました。

#### ■採決の結果

当初予算に反対した水道施設運転管理等業務委託の予算が執行されているので、決算の認定には反対するとの意見もありましたが、賛成多数により、原案のとおり承認しました。

# Q&A

## 一般質問



9月定例議会では、16名の議員が市政について質問に立ちました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を12月上旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館でご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

### スポーツ振興について

#### 学校給食について

藤本 和久（一灯会）

#### スポーツ振興について

**問** スポーツセンター南側運動広場、特にE、Gコートの排水が悪く、改善して欲しい。

**市長** 排水の問題は認識していた。早速調査に入りたい。

**問** 向島運動公園多目的広場の利用時間は9時から21時となっているが、利用者からもう少し早くできないかとの要望が強い。1時間でも早くできないか。

**土木都市建設部長** 公園の近くに民家があり、騒音などを考慮し、9時からとしたが、市民からの要望が強いことから、早くできないか検討する。

#### 学校給食について

**問** 学校給食に使われる食材の残留放射性物質が基準内であることをどのような方法で保証しているのか。

**教育部長** 国は、法律に基づいて、品目ごと、生



産地ごとの出荷制限や摂取制限といった措置を、また、県は、玄米と牛肉のサンプル検査や大気環境中の放射線調査、地上や海上などの放射線測定を実施しており、いずれも異常は認められていないことから、現時点では、流通している食材は安全と判断している。本市独自の検査は考えていない。

**問** 給食費の収納事務は本来、設置者の市が行うべきだが、なぜか学校の教職員が行っている。収納事務を市が行い、先生の負担を軽減すべきだと思うが、いかがか。

**教育部長** 実施する考えはない。

### 継続できる実践型の防災施策を！

山田 耕治（絆）

**問** 防府市が独自で進めている防災施策や普及活動があるか？

**市長** 独自の自主防災組織の認定方法で、自治会規約に自主防災に関することを加えること、緊急情報が自治会長等から確実に伝達される連絡網の整備を義務付けている。また、小・中学校で避難場所や学校周辺における危険個所を知るなどの防災教育を行っている。

**問** 次のステップでは親を対象に防災学習を行い、地域への活性化を目指す。災害時、要援護者等の支援マニュアルがあるが、地域への啓発は？

**総務部長** 防災危機管理専門員を中心に、地元での出前講座の中でお願いしている。

**問** 要援護者の支援マニュアルで、個別プラン作成の手助けは？

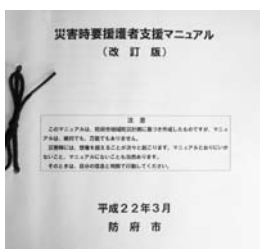
**総務部長** 先進自治体の取組を参考にしながら、

要援護者支援システムを広げていけないか検討してきた。

**問** 地震や火災等が庁内で発生した場合の訓練や職員ひとり1人の教育はどのように進めているのか？

**総務部長** 市民も加えた防災訓練もしている。また、1月には地震を想定した参集訓練で合わせて火災訓練も行った。

**要望** 要援護者等の支援マニュアルの充実や普及も併せ、減災対応策をしつかりと協議し、災害に強い防府市にしたい。



#### その他の質問項目

◆安心・安全な道路環境整備について

## 児童に対するいじめや虐待と自殺 中一ギャップの現状は

弘中 正俊（明政会）

**問** 育児期にある親への育児教育が学校においてどのようになされているか。また、どのような計画があるか。

**教育長** 保護者教育として、小学校入学前に、子育て講座を中学校のPTA研修会などの機会に、思春期子育て講座を開催しております。

**問** 学校と家庭・地域の連携についての施策と今後の取組みはどうか。

**教育長** 授業での学習支援、職場体験学習の受け入れ、登下校時の見回りなど子どもたちの成長を支える取り組みが行われている。

今後の予定として、学校ボランティアの組織化、平成24年度中には「コミュニティ・スクール」に全小・中学校を指定する予定です。

**問** いじめ等による自殺が社会問題化している。自殺の実態と原因となる

いじめに対する対策は。

**教育長** 定期的に児童生徒との教育相談や、スクールカウンセラー活用事業を利用して、児童生徒や保護者への対応、相談体制の充実に努めている。

**問** 中学校に入学すると学校環境が変わり、子どもにはギャップとなり不登校が増えているが解決する施策は。

**教育長** 小・中学校9年間を見通した切れ目のない指導体制の構築、教員間との情報交換や合同研修を行い、小・中連携を推進している。不登校の未然防止のため、スクールカウンセラーを全中学校に配置している。



## 消防団のまとい受賞と定員増、 日除け、耐震、防府天満宮展、国宝

大田 雄一郎（明政会）

**問** 市消防団が、日本消防協会から特別表彰の「まとい」を受賞した経緯と、消防団員の定員増について。

**消防長** 最高の名誉ある賞で、長年にわたる活動と、21年7月21日の豪雨災害における救助や捜索活動に対するもの。市ホームページに掲載し、4号館1階ロビーに展示している。

**問** 条例定数は408人で現在400人。大規模災害時には、県内相互応援協定で対応するとなっている。現在の定数で、消防の責任は十分果たしていると考えられている。

**問** スポーツセンター南広場に、屋根付きの日除けベンチの設置を。また西植松農村公園の日除け対策を。

**教育部長** 各競技団体の意見を聞き、体育施設整備計画等検討委員会で検討していきたい。

**産業振興部長** 樹木による日除け対策を地元と協議しながら検討していきたい。

**問** 小・中学校の耐震化工事を早急に。

**市長** 右田小学校を平成26年度までに建替。市内で一番古い桑山中学校を平成25年度から27年度までの3年間で、南側と中央の2つの校舎を建替。

**問** 9月22日から、県立美術館で防府天満宮展が開催されること、松崎天神縁起の国宝指定について。

**市長** 防府天満宮、市にとってもよいPRの機会であり、主催者の一員として協力する。



## 必要な津波対策

### 再び中根市之丞の墓碑について

木村 一彦（日本共産党）

**問** 最近の研究では、東海、東南海、南海に加え九州側に震源をもつ「4連動地震」によって南海沖に大津波が発生し、豊後水道を通って瀬戸内海沿岸部を襲う可能性があるとされている。市の津波対策は？

**市長** 従来、山口県瀬戸内海沿岸部の津波の高さは最大2mから3mとされてきた。しかし3・11の教訓から、国や県は現在防災計画の見直しを始めており、市もその結果を踏まえて地域防災計画を見直す。津波ハザードマップの作成は次年度の大きな課題と考える。

**問** 公益法人改革によって公営施設管理公社は解散する予定と聞かすが、現在同公社がおこなっている道路の維持補修業務はどうなるのか。

**総務部長** 住民のサービス低下にならないよう、最善の方策を検討している。

く。

**問** 平成17年3月議会で一般質問した中根西泊の岩場にある中根市之丞の墓は、その後も人が通えない状態のまま放置されている。幕末、長州藩の外国艦隊砲撃を詰問するために幕府から派遣され、奇兵隊士らによって暗殺された中根らの殉難をいたんで、旧小郡町では事跡を丁寧に紹介しているが、市として状況の改善する考えは。

**市長** 墓碑の移転や経路の改善は難しい。



### 地域コミュニティ組織構築について

山根 祐二(公明党)

**問** 自治会加入状況と地域活動状況はどうか。

**市長** 加入率は平成20年82・3%で平成17年から1・2%減少。自治会、市社会福祉協議会、老人クラブ等が活発に活動しているが、人口減少や高齢化により縮小もある。

**問** 補助金から一括交付金制度になると変化は。

**市長** 個別の補助金から一括交付金になれば地域の個性を生かし使い勝手が良い。

**問** 一括交付金は大金となるが、金銭管理や会計監査はどう考えているか。

**総務部長** 地域のお金の流れが透明化される。監査は行政のサポートも考える。

**問** 現自治会の役員は重複し、高齢化も見られる。人材育成制度が必要では。

**総務部長** 人口減少だが回塊の世代にもお願いし、制度づくりも考えて

いく。

**問** 先進地視察は。

**市長** 安芸高田市川根振興協議会では指定管理者が公のコミュニティ施設を管理運営し、過疎化、高齢化の中、地域一体の取り組みが本市の地域づくりに参考になった。

**問** 将来自治会、各種団体は統合する方向か。

**市長** 現在の自治会等の各種団体は、新たな地域コミュニティ組織を構成する団体として引き続き活動していただく。

**問** 地域コミュニティ全体のコントロールセンターが必要では。

**市長** 市全体の連合組織が必要と思う。今後意見を聞き検討したい。



自治会の花畑

### 発達障害支援について 心を育む食育・性教育を

高砂 朋子(公明党)

**問** 昨年12月、障害者自立支援法改正。発達障害も福祉サービスの対象に。成人発達障害の方の対応は。子ども達の場合、早期に把握することが重要。そのために、就学1年前、5歳児を対象にした、発達相談会を実施しては。また、就労までの長期的な支援のために、共通の個別支援計画表が必要であり、各部署、各機関の連携の中枢を担い、相談・訪問なども可能なセンターが必要では。

**市長** 成人発達障害の方への対応は、保健師による相談のほか、市障害者生活支援センターとクローバーセンターに相談業務を委託。今後、相談を通し、サービス利用が図られるよう努めて行く。5歳児発達相談会は大変有効であり、前向きに考えて行く。現在は統一した個別支援計画表は用いていないが、今後検

討する。センター設置は考えていないが、緊密な連携体制は整えて行く。

**問** 学校給食を「生きた教材」として活用し、栄養指導やマナーだけでなく、命をいただくことの意味や、食材の生産者や給食関係者への感謝の気持ちを確認し、心を育むことが重要では。また、様々な性の問題や情報氾濫する現在、「性教育」は「生教育」、生きていくための大切な教育、今こそ、人が人を大切に思いやる心を育むための細やかな教育を。

**教育長** 心を育む教育に向けて、食育、性教育のさらなる充実に取り組んで行く。



### PEN食器の商流・ソルトアリーナ使用料について

青木 明夫(絆)

**問** 小学校給食のPEN食器購入で、1社しか製造していない製品を選んだ理由と強化磁器食器、ABS樹脂食器を外した理由は。

**教育部長** 小学校給食食器選定委員会で、運ぶ際の児童の負担が少なく、割れることの危険性が少ないことから決まった。



**問** 品質や価格について食器選定委員会からどのような答申があったのか。

**教育部長** 品質に優れているなど。

**問** 昨年の華浦小学校での入札の経緯は。

**教育部長** 入札には7社が応札。8月12日に実施し、納期は2週間後の同

25日。

**問** 製造元は三信化学工業(株)1社であり、公契約における公平性は確保できるのか。

**教育部長** 応札が1社であれば問題と考えるが、数社の業者が応札しており公平性は保たれると考えている。

**問** 製造元が1社だけで特定の業者を介さなければならぬ納入は公平性・透明性から改善すべきでは。

**教育部長** 入札制度に基づいた複数の業者による入札と考えている。

### 統計数値「県内最低の防府市」の、 活力アップについて、ほか

重川 恭年（民意クラブ）

**問** 最近発表の各種統計では、県下13市の中で防府市が最低の数値が多い、これは故郷ほうふに魅力が無い、活力が無い証拠ではないのか、どの様に考えているか。

**市長** 種々厳しい環境になっっている、その中で地域の資源も活用し、人が集う仕組み造りに励み、今春発表した今後10年間の総合計画実現に向けて努力したいと考えている。

**問** 地価の下落率が県下で最も激しい、雇用環境も最低、その他自主防災組織率も同様、総合計画は策定初年度から霧散しているのではないのか。

**市長** 悪い面だけで無く良い面や数値もみてもらいたい。

**副市長** 自主防災組織率は内容に多分の差がある。

**産業振興部長** 地価下落は外部要因も大きく影響しており、有効求人倍率も同様であるが、企業等



まだまだ発展の余地を残している防府市

積極的誘致に努めたい。

**問** まだある、今回重要港湾の三田尻・中関港がバルク港湾、更には重点港湾から漏れたのはなぜなのか。

**土木都市建設部長** 指定取扱い品目が影響していると考ええる。

**問** 企業立地数も県内20社あるが、防府市は要件でこれも問題、また特区活用策も不十分である。

**総務部長** 全ての面で努力して行きたい。

**要望** 市の全組織で縦横無尽の努力を期待する！でなければ県内他市に遅れを取り、活力も魅力もないまちなりさがる。

**その他の質問** ◆自然エネルギーの活用について。

### 地域包括支援センターの増設を 高齢化に伴う市営住宅の改善について

山本 久江（日本共産党）

**問** 地域包括支援センターに対する市民の期待は大きく、相談が急増している。センターの増設や職員増員はできないか。

**市長** 今後3年間は、現行の4包括体制で職員は1名増員したい。しかし、高齢者支援、介護サービスニーズがピークを迎えるので、職員の増員や市直営での1圏域増設も検討したい。

**問** 高齢者世帯の増加に伴い、市営住宅の改善計画はどのように進めているのか。

**市長** バリアフリー化の必要性は十分認識している。玄関、浴室、トイレ等に手摺を設置することを考えており、ストック計画後期計画の中で検討したい。

**問** 後期計画策定に向け、入居者に、居住環境に関わるアンケートを実施したい。

**土木都市建設部長** 入居者の意見をきくため、実施したい。

**問** 小・中学校の災害時応急避難場所としての機能強化を、どのように検討されているか。

**教育部長** 今後、学校施設においてどのような避難所機能を備えておくべきかについて、協議したい。

**問** 保育所や障害者施設の耐震化対策は。

**健康福祉部長** 愛光園は施設の一部が耐震診断で基準以下なので、2次診断を実施したい。



### 三田尻<sup>記念</sup>児童公園のトイレの改善を！ 指定<sup>指</sup>定<sup>定</sup>体育館の社員は2人、非正規社員36人

三原 昭治（民意クラブ）



不評の簡易トイレ

**問** 防府市内で地区公園を除き、最も利用者の多い公園は。

**土木都市建設部長** 三田尻記念モデル児童公園。

**問** 同公園のトイレはプラスチック製の簡易トイレで、利用者から防犯や衛生面などから苦情が多い。地元の局の内自治会からも市長、議会宛に改善の陳情書が提出されており、早急な対応を図るべき。

**市長** 優先順位や緊急度から極めて高い位置にあるトイレで、早急に取り掛からなければならぬと思っている。

**問** 若者を中心とする雇用確保と雇用の場の創出で、企業誘致による対策

が有効だが、今年度の活動に関する予算と専任職員の体制は。

**総務部長** 出張旅費として32万円で、専任職員は配置していない。

**問** 昨年の一般質問で、市の官製ワーキングプアを指摘したが指定管理者委託している新体育館の雇用形態は。

**教育部長** 正社員2人、アルバイト36人（フルタイム6人・パート30人）となっている。

**問** 36人は3〜4カ月の短期雇用。そのほとんどは市の将来を担う若者であり、市長が所信表明で述べた「働くなから防府」「住むなら防府」といえるのか。安定した労働確保のために契約時に雇用形態をしっかりと示すべきだ。

**市長** 対等の立場で優れた方と契約しており、正規雇用をお願いや市民の採用を話してきた。

## 野島地区の活性化支援

山下 和明(公明党)

**問** 野島航路の運賃軽減について、島内には生鮮食品や生活必需品を扱う店舗がないため、買い物や病院に通院される方も多く、月に6回〜10回渡航されている。往復1、500円は年金生活者には大変な負担である。片道750円を600円に軽減出来ないか。合わせ運賃の一部助成「12枚交付」の拡充は出来ないか。

**市長** 野島航路対策の強化を国に要望し、利用状況等を勘案。市の助成制度の拡充を検討したい。

**問** 野島簡易郵便局の閉鎖で振込や年金の受取りが出来なくなったが、その後の対応は。

**市長** 振込等は、本土の郵便局に本人が足を運ばなくてはならず、不便です。郵便局のキャッシュカードがあれば、漁協のATMで払戻しできるが、高齢者の多い野島では、カードはあまり使わ

れていない現状、このような状態を解消するため、早い再開について申し入れをしている。

**問** 高齢者も増え、生活環境の変化に戸惑いがある。島内で幅広く要望を聞くために、月に1回程度、職員を派遣してはどうか。

**市長** 市政なんでも相談課の派遣については、実施方法、回数などを早急に検討し、実施したい。



### その他の質問項目

◆公共下水道計画と合併処理浄化槽の普及

## 歴史的遺産を活用したまちづくり 学校図書館の充実を

田中 健次(市民クラブ)

**問** 歴史的遺産を活用したまちづくりについて、市の基本的考え方は？

**市長** 歴史的景観の保全や観光振興、地域振興の観点から重要と考えています。個人の建物で、その保存・活用が難しいものもありますが、保存・活用に努め、ふるさとの文化や歴史を継承するまちづくりを進めたい。

**問** 火事で消失した宮市本陣兄弟家は、防府を特徴づける歴史的遺産であり、復元すべきでは？

**市長** 建物は消失しましたが、現状を記録に残す調査を行っており、国史跡の追加指定となるよう



努力しています。今後は、兄弟家、文化庁との協議を進め、整備計画を練り、史跡秋往還の本陣としてふさわしい景観を取り戻すべく、建物の復元をめざし、どのような方法が可能かを考えたい。

**問** 学校図書館を具体的に振興するプランの策定についての検討は怎么样了？

**教育部長** 「市子ども読書活動推進計画」に示した具体的な取組みについて検証しながら、今年度中に策定する予定です。

**問** 本年度配置した学校図書館司書の状況は？

**教育部長** 1名が小学校17校を巡回しています。読書活動や学校図書館支援で成果をあげており、増員を検討します。

### その他の質問項目

◆小学校給食の民間委託  
①要求水準書の改善を  
②栄養士未配置の学校は経費削減になるか？

## 防犯灯LED化経費の貸付制度 の創設と幹線道の街路灯整備を！

土井 章(明政会)

**問** 防犯灯・街路灯について ①防犯灯のLED化は節電、低料金、長寿命など利点が多いが、当初、相当の金が必要で余剰金の無い自治会は不可能。無利子貸付制度を設けては。

②他市に比べ街が暗い。交通量の多い幹線道路や公共施設周辺は、市が街路灯を設置すべき。

**市長** ①貸付制度の創設について、研究する。  
②連続照明は1日交通量が2万5千台以上が必要。公共施設、観光地については順次整備したい。



**問** ①山頭火ふるさと館基本計画策定に当たって、  
①用地は、焼失した兄弟家隣接の細長い私有地を

想定しているが、八王子の種田家屋敷跡(現県有地)が、適地ではないか。  
②1次資料(山頭火の直筆書等)の収集、確保を積極的に図るべき。

**市長** ①防府天満宮との相乗効果、観光施設との連携による経済効果を考え候補地とした。地権者には打診はしている。  
②1次資料については山頭火ゆかりの品の寄贈等をホームページ等でお願しているが、1次資料にこだわる必要もない。

**問** 富海地区への公共下水道整備は、費用対効果収益性を考慮すべき。あと何年かかり、残事業費、受益人口・世帯数は？

住民への説明会を開催し、意見を吸収すべき。  
**上下水道局長** 全域供用開始は平成30年目途、残事業費20億円、人口1、600人、750世帯。(1世帯当たり、約270万円もかかる)



## 教育行政について

中林 堅造（平成会）

**問** 新学習指導要領全面実施下の取組は。

**教育長** 「生きる力をはぐくむ」を基本姿勢として、豊かな人間性を育むために、心の教育・キャリア教育の推進、生徒指導の充実に取り組む。確かな学力を育むために、学習指導の充実、特別支援教育の充実、社会の変化に対応した教育の推進。健康・体力を育むために、体育授業改善のポイントを示す。危機回避能力向上のために少年安全サポーター、スクールガードリーダーを避難訓練に派遣している。

**問** 教育長就任1年目の想いは。

**教育長** 「教育のまち日本一」をめざして取り組んできた。「学問のまち防府創生事業」を推進するため「学校の教育力向上」「家庭・地域との連携強化」を重点目標とした。児童1人ひとりを大切に

した教育を推進し「子どもが登校したくなる学校」「保護者が通わせたい学校」「市民から信頼される学校」「教職員が誇りと働きがいを感じる学校」を市民とともにつくって行きたい。

**問** 学力向上の取組、家庭での姿勢について。

**教育長** 学校教育課に「学力向上推進室」を設置。授業力の向上、教職員研修の充実や授業改善に役立つ資料の収集、模範授業の実施の取組を行っている。研究プロジェクトを立ち上げ、理数教育の充実のため、市独自で理科の教材開発を進めている。市教委・学校、家庭が一体となった教育推進のため、各PTA総会で直接説明している。



## 消防団の定員数について 新たな地域コミュニティについて

安藤 二郎（絆）

**問** 消防団の現在の定員数は昭和37年に定められたものであり、防府市における所帯数の推移、全国の状況から比較しても非常に少数であり、見直すべきではないか。

**消防長** 近年、消防の任務が多様化し、消防本部の充実強化を計画的に図ってまいりましたので、本市全体としては、消防本部・消防団を合わせて消防力は確保されていると考えている。

**問** 女性消防団はどうか。

**消防長** 女性消防団の新設については、消防団との協議を重ねていきたい。

**問** 新たな地域コミュニティ組織は、現状のマネジメントの改善なのか、そつではなく、ガヴァナンスまで求めているのか。

**市長** 地域主権改革の進展に伴い、地域の実情に沿った地域づくり・まちづくりを住民主体・住民主導で進める観点から住

民自治の拡充が必要となつてきており、地域コミュニティの強化が重要であると考えておりますので、このことが将来的に地域のガヴァナンスの考え方につながるものと思います。

しかし、本市においては、新たな地域コミュニティの構築は、現在各地域にある地域コミュニティの再生・再構築という考え方に基づくものであり、当面は、地域の運営である、マネジメントの改善に取り組むと捉えております。



新装なった三田尻分団消防器庫

## 賛否が分かれた議案に対する議員の態度

○賛成 ×反対

賛否No	平成23年9月定例会	会派・議員名（※行重議長は除く）																	賛否の合計		議決結果					
		明政会				絆		公明党		平成会		前進		七代会		日本共産党		民意クラブ		一灯会		市民クラブ	賛成	反対		
		大田	佐鹿	土井	弘中	松村	青木	安藤	山田	高砂	山下	山根	田中敏	横田	中林	今津	斎藤	河杉	久保	木村		山本			重川	三原
1	平成23年度一般会計補正予算（不当要求専門員削除修正案）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	13	11	可決
2	（学校給食配送業務委託削除修正案）	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	13	11	可決
3	市議会の議員の定数を23人と定める条例の一部改正	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	7	17	否決
4	市議会の議員の定数を25人と定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	11	13	否決
5	平成22年度決算の認定	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	-	○	×	×	×	×	×	○	×	8	15	不認定
6	平成22年度水道事業決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	×	20	3	認定

※賛否の態度が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない18議案は、全会一致で可決しました。  
※今津議員は監査委員のため、賛否No.5、6の採決には加わらない。

# 常任委員会の報告

## 総務委員会

### ●一般会計補正予算

歳入の主なものでは、普通交付税の交付額が決定したことに伴い、約1億3千万円の増額補正を計上しています。歳出の主なものでは、不当要求行為等防止対策委員会に専門員を配置する経費、市有施設の第1次耐震診断の結果、Is値が0.3未満の6施設について、第2次診断をする経費、防犯灯設置・取替補助金の増額に伴う経費が計上されています。

なお、不当

要求行為等防止対策委員会に専門員を配置することに  
については「本委員会に弁護士を専門員として入れても  
不当要求等を行



第2次診断を実施する文化福祉会館

行う者がいなくなる保証は全くなく、顧問弁護士に相談に行けば済むので、当面、見送って、市幹部職員が前面に出て職員を擁護すべきである」という意見があり、不当要求行為等防止対策委員会に専門員を配置する経費について削除する修正案が提出されました。採決の結果、修正案は賛成少数で不承認になりました。(本会議では可決、2ページ参照。賛否(31))

## 教育民生委員会

### ●暴力団排除条例の制定

自治基本条例との関係で修正案が出され、全員一致で可決されました。

その内容は、市民の定義が本条例の逐条解説に示されていますが、自治基本条例と異なる定義であり、市民と事業者を条例の中で明確に定義するものです。

### ●一般会計補正予算

学校給食配送業務の民間委託をめくり議論となり、修正案を可決しました。

給食センターから中学校への給食配送業務を、来年度からの5年間民間委託するための予算が計上されました。これについて、業務委託より直営のほうが安価と考えられ、直営で実施できない理由が明確に示されない、直営で実施するほうが良いという意見(直営・修正案賛成)と、運行管理は、人員の確保が大事で、直営で教育委員会が統括するのは、日々の給食配送の確実性の面からリスクが大きいという意見(委託・原案賛成)が出されました。

教育委員会に資料の提出を求め、2日か



# 常任委員会の報告

けての質疑、議論となりましたが、結果として、委託実施の再検討をし、直営とする修正案を賛成多数で可決、委託に関する債務負担行為を削除しました。

### ●その他の質問

学校図書館ネットワークの今後の計画についての質問に対し、「モデル校を選定し、学校図書館管理システムを導入、順次、全ての小・中学校に導入し、その後、図書館ネットワークシステムの構築に取り掛かる予定」との答弁がありました。

## 産業建設委員会

### ●一般会計補正予算

▽中高年齢労働者福祉センター(サンライフ)改修工事  
屋根防水の改修にかかわる工事が計上されています。

▽農地・水・環境保全向上対策事業  
農業用排水路などの長寿命化への取組みに対する支援が追加等されたので、補助金の増額等が計上されています。

### ▽河川改良工事

砂防堰堤の下流域水路整備のうち、上右田地区の中山北川整備工事について、県との協議で施工箇所が変更となったので、所要の経費が計上されています。



上右田地区の河川改良工事

▽農業施設災害復旧工事  
富海石原農地外2カ所の施設の災害復旧工事が計上されています。

### ●公共下水道事業会計補正予算

公共下水道事業特別会計は、新年度から企業会計に移つたため、旧公共下水道事業特別会計を3月で打ち切り、これにより決算により確定した特例的収入及び支出についての補正が計上されています。

### ●その他の質問

「三田尻中関港について重点港湾指定から外れた理由は何か。」との質問に対し、「同港は重要港湾のひとつですが、ほぼ1県に1つの重点港湾とはなっていません。取扱量ではポーターラインぎりぎり、県内3位となっております。地域の拠点性という点で厳しい状況です」との答弁がありました。

# 議会報告会

## 市民に開かれた議会へ



### 行政への意見

前号に引き続き、議会報告会(5月23日～31日)に市内15地区で開催(て)出されたご意見等のうち、行政への意見等の回答の一部を掲載しています。詳しくは、議会ホームページに掲載しています。

#### 山頭火ふるさと館

**問** 山頭火ふるさと館は、大きすぎると維持費に不安。中身をしっかりとしたものに。

**答** 施設の規模は、他市の類似施設を参考に検討していますが、ふるさと館の中身をしっかりと検討し、必要な範囲のものとしたします。また、内容については、「山頭火を顕彰し発信する機能」「貴重な資料を保存し継承する機能」「山頭火に親しみ伝える機能」、そして「連携し波及する機能」を満たすものとして、防府市を全国に情報発信し、広くPRすることができ、また市民の皆様にご愛されるものにするよう、十分に検討します。

#### 防犯灯について

**問** (1) 管球の取替え補助の期間は3年で、この

間にLED防犯灯への交換をという市の考えとと思うが、交換に結構金がかかるので、5年に延ばせないか。  
(2) LED管球取替えの補助率を上げてほしい。  
(3) 自動点滅器の交換に5,6千円かかる。これについての補助を検討してほしい。

#### 管球取替補助は、

(1) 管球取替補助は、中国電力の管球等無料取替えサービス廃止に伴い生じる自治会の負担の急激な増加を緩和するため設けたもので、当面は3年間と考えているものです。また、今後は、地球温暖化対策にも有効で、蛍光灯と比べ長寿命で電気代も安いと言われるLED防犯灯の普及を見込み、管球取替補助制度とは別に、LED防犯灯の設置や取替の経費に対する補助制度を新たに設け、自治会負担の軽減

を図ることとしました。自治会の負担も大きいと思いますが、LED防犯灯の設置費用と安価な電球代、蛍光灯の管球取替費用等についても比較検討いただきますようお願いいたします。

(2) LED防犯等は、管球の取替ができる蛍光灯と異なり、照明部分のみを取り替えることができないため、全体を取り替えることとなります。従って、LED照明の取替えに係る制度をご利用いただくこととなります。また、LED防犯灯の補助率は、これまでの蛍光灯防犯灯の補助率より10%高い60%としていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

(3) 防犯灯の補助制度は、見直しを重ね、現在は、防犯灯の設置、取替費用、管球取替費用、電気料について一部を補助しています。自動点滅器交換は、現在、市の補助制度の対象となっておりませんが、これまで、中国電力が無償で交換してきたという経緯もあるようですので、交換数や経費等がど

の程度かなど調査し、検討してまいります。

#### 防災ラジオ

**問** 防災ラジオが受信しにくい。

**答** 防災ラジオは、コミュニティ放送である「FMわっしょい」(76.7MHz)の電波を使用し、緊急放送を行っています。FMわっしょいは、向島の中腹に設置された送信所から電波を送信していますが、コミュニティ放送局のため送信出力等が制限されており、市内全域をカバーすることはできません。そのため、「防災ラジオ」が受信しにくい場所については、ケーブルテレビのケーブルに防災ラジオを接続することにより緊急放送が受信できますので、ケーブルテレビに接続されるようお願いいたします。



#### 国民健康保険証のカード化

**問** 国民健康保険証は世帯単位となっています

が、カード化して個人ごとに発行できないのか。  
**答** 平成24年9月の被保険者証の一斉更新に合わせ、個人カード化を実施します。そのため、現在、カードの仕様や発行方法等について調査を進めているところです。

#### プールの改修

**問** プールの改修について、どうなっているのか。どの程度かかるのか。  
**答** 現在、今後のプールについて、関係諸団体や有識者の外部委員によるプール施設整備検討委員会を設置し、プールの必要性、建設する場合の場所、規模・形態、機能等についての検討を行っています。この検討委員会からの提言を基に基本計画を決定し、作業を進める予定にしていますので、現時点で具体的なスケジュールについては決まっていますが、早期の供用開始を目指し努力してまいります。

11月に報告会を予定しておりましたが、急きよ市長選挙が予定に当たり、中止となりました。申し訳ありませんでした。

# 10月臨時議会報告

9月定例議会閉会直後に出された市長の辞表をめぐって、10月に2回の臨時議会が開催され、最終的には市長が辞表の撤回を致しました。これにより、11月20日投票で予定されていた市長選挙・市議会議員補欠選挙(定数2人)はなくなりました。

2回の臨時議会の議案、賛否の討論、採決の結果をご報告致します。

## ■市長選の費用等を否決

— 10月17日の臨時議会

10月17日の臨時議会は、市長退職に伴う選挙費用、退職金等の補正予算と市長の退職の期日に関する同意の議案が提出されました。多数の議員が、多額の経費を要する無用の選挙をやめるよう求め、補正予算及び退職の期日の同意は、いずれも賛成少数で否決されました。

市長は、閉会前のあいさつで、辞任まで1両日残されており、3点の辞任理由について、議会の対応があれば、その努力をしたと述べました。

### ■市長選挙費等の補正予算

補正予算案は、市長・市議補欠選挙費4,817万円、市長退職金684万円、議員報酬等(現在欠員2人約4カ月分)423万4千円の計5,924万4千円です。

次のように賛成・反対討論が行われ、賛成少数で否決されました。(賛否No7)

#### ▼反対討論

山田耕治(絆) 市長選挙費等、合計約6千万円が市長の辞任により必要となる。退任して次の選挙に出るのでは理解しがたい。議員も市民に選ばれ、施策に賛否の判断をしている。否決されたら民意が反映されていないというのはおかしい。

重川恭年(民意クラブ) この予算は、市長の退職に関わり、市民生活に必要不可欠なものではない。二元代表制の趣旨



市民からは、「国体で市民が頑張っている時に何を考えているのか」「5千万円も使って不毛の選挙をするな」と聞いてい

る。今年度、敬老会補助金が100万円カットされたが、わずか170万円の財源だ。選挙経費等は市民福祉のため使用するべき。

田中健次(市民クラブ) 地方自治法では、議会の議決に市長が不満なら再議を請求できるが、しないのは、議決を容認したことだ。市長は当選しても、残りの任期となり、4年間に2回分の選挙費用がいり、無駄な予算。市長選挙は、4年ごとに総合的な政策、実績等を争うもので、思い通りの理由での選挙はパフォーマンス政治だ。

木村一彦(日本共産党) 市長の辞職には道理がなく、税金の無駄遣い。自己の政權基盤強化のため、辞職して選挙の機会をつくり、有権者を「民意」調達の道具として利用。有権者の耳に入りやすい「議員定数半減」などワンフレーズを叫び、議会との対決を演出するのは、河村名古屋市長らのやり方と同じ。二元代表制を形骸化し、市長の独裁化に道を拓く。

#### ▼賛成討論

田中敏靖(平成会) この議案は、現行の条例等で定められたもので、議会と執行部が対立してばかりでは、市政を混乱させ、阿久根市のような専決の問題が出てくる。市民から議会の体質を疑われないように努力しなければならない。議長・副議長が議会と執行部の調整をしていけば、問題は円満に解決していく。

山根祐二(公明党) 今の時期に市長の退職は、賛同しないが、市長の意思による選挙は、地方自治法上避けられない。選挙費用等の否決は、市政及び議会の混

乱を生じさせる。

### ■市長の退職の期日に関する同意の議案

地方自治法の定めにより、辞表を提出した9月30日から20日後の10月20日に、市長は退職します。但し、議会の同意によりそれより早い退職が可能なため、臨時議会が開かれた10月17日の退職に同意する議案です。

賛成少数で否決され、退職の期日は10月20日となりました。(賛否No8)

#### ▼反対討論

土井章(明政会) 議員定数を直接市民に問うのなら、辞任、再出馬ではなく経費が少なくて済む住民投票をすべきだ。市議補欠選挙もしないですむ。選挙費用5千万円は、有効に使っべきだ。

木村一彦(日本共産党) 全く無用の辞職である。一種のパフォーマンスであり、行政を混乱させても選挙をし、有権者を民意調達の手段とする。6千万円の税金を使うこの辞職は認めない。

田中健次(市民クラブ) パフォーマンス政治はやめるべき。市長の退職は10月20日まで猶予があり、退職期日を早めることに同意できない。

重川恭年(民意クラブ) 議案の一部否決が辞職の理由のようだが、議会の議決権から当然。また、市長は再議権を行使できる。妥協の道もあらゆる角度から探るべきで、辞職の必要はない。

#### ▼賛成討論

中林堅造(平成会) 議会が民意を踏みしじり辞任となった。民意を問う市長選挙を考えての辞職であり同意する。

**山下和明（公明党）** 11月20日に市長選挙執行となっており、残念だが、混乱を招く状態を避けたいと思い、同意を認める。  
**斉藤 旭（前進黨）** 市長は、民意が成就できなかつた責任を取り辞職された。市民にとって選挙は民意を達成する手段であり、予算否決は市民の正当な参政権を奪つ。

## ■市長が辞表を撤回

### — 10月19日の臨時議会

10月19日の臨時議会は、17日の臨時議会で否決した補正予算の内容が、市長選挙費等の義務経費であるとして、地方自治法の規定により再議に付すため、18日に市長が急ぎよ招集したものです。  
 19日当日に、9月議会で修正案により削除された内容を2つの補正予算案として、急ぎよ市長は提出しました。この議案の議決結果により、市長は辞表を撤回しました。

## ■不当要求行為等防止対策委員会専門員の補正予算

9月定例議会で、補正予算から修正案(2)、10ページ参照、賛否No.1)により削除された内容を再提案するもので、弁護士報酬等21万9千円を計上しています。  
 全員一致で可決されました。(賛否No.9)

### ▼賛成討論

**土井 章（明政会）** 17日の臨時議会で2議案が否決され、市長は閉会のあいさつで、翻意の可能性に言及され、その結果が、この議案だと理解します。選挙が回避できれば、選挙費等約6千万円が有効に使うことができ、苦渋の選択だが、賛成する。

そもそも、不当要求行為等防止対策委員会は、暴力団等を対象とするもので、一般市民が対象の場合、不当要求者の明確な基準、弁護士との参画による事態の推

## ■市長の閉会のあいさつ

補正予算案、退職期日とも否決は、議会の総意として、「松浦やめるな」と言われてると思う。自動的に辞任となるまで、1両日残されており、3点の辞任理由について、議会がそれなりの対応をする可能性があれば、その努力を私なりにしなければならぬと思つている。

## ■学校給食配送業務委託の補正予算

9月定例議会で修正案(2)、10ページ参照、賛否No.2)により削除された内容を再提案するものです。内容は、中学校給食配送を業務委託(平成24年〜平成28年)するため、予想される5年間の経費1億2,338万円の債務負担を認めるものです。  
 全員一致で、教育民生委員会に付託して閉会中の継続審査としました。(賛否No.10)

## ■市長の辞表撤回

2つの補正予算の議決後、市長から辞

表撤回の届けが議長に出され、議員に報告されました。

## ■市長選挙費等の補正予算の再議

17日の臨時議会で否決した市長選挙等の補正予算は、義務経費であり、18日に市長が再議を求めたものです。市長の辞表撤回で再議は不要となりますが、再議は撤回出来ないため、前回の議決(否決)どおりすることを全員一致で可決しました。(賛否No.11)

## 議長の談話

### 議長 行重延昭

市民の皆様には、ご心配をおかけましたが、市長選挙が回避でき、約6千万円もの血税が侯約できたものと安心してあります。

本来、議会は是々非々で、賛否両論があるのが当然で、議案が否決・修正されたからといって、辞表を出して市民に問うというのでは、議会制民主主義の否定につながります。今回の辞任騒動は、市長の暴走だつたのではないのでしょうか。

補正予算の修正程度で市長選挙をやるべきではないという、私自身の思いがあり、執行部からの提案を受けて、議員の意見を集約し、協議した結果です。苦渋の選択をした議員もおられますが、市長も思いとどまり、また、議会も全会一致で議決し、混乱を回避できたことは、良かったと考えています。

議会も議会改革を進めています。ご理解とご協力をお願い致します。

## — 主な議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対 (欠は欠席)

賛否No	平成23年10月臨時会	会派・議員名 (※行重議長は除く)																			賛否の合計		議決結果						
		明政会				絆		公明党		平成会		前進黨		七代会		日本共産党		民意クラブ		一灯会	市民クラブ	賛成		反対					
		大田	佐鹿	土井	弘中	松村	青木	安藤	山田	高砂	山下	山根	田中敏	横田	小林	合津	斎藤	河杉	久保	木村	山本				重川	三原	藤本	田中健	
7	平成23年度一般会計補正予算(市長選挙費等)	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	9	15	否決			
8	市長の退職の期日に関する同意	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	9	15	不同意			
9	平成23年度一般会計補正予算(不当要求専門員報酬)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0	可決
10	平成23年度一般会計補正予算(給食配送業務委託) ⇒ 継続審査	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0	継続審査
11	平成23年度一般会計補正予算(市長選挙費等・否決)の再議	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0	可決

\*主な議案を掲載しています。ここに掲載していない1議案は、全会一致で可決しました。

# 議会日誌

## 8月

- 1日 教育民生委員会(所管事務調査)
- 2日 議会改革推進協議会  
議会改革の視察受け入れ(兵庫県三田市)
- 3日 議会空き家等対策協議会
- 5日 会派代表者会議  
議員定数検討協議会
- 12日 山頭火ふるさと館検討協議会
- 18日 山口県市議会議長会議員研修会(防府市)
- 19日 教育民生委員会(所管事務調査)
- 26日 勉強会  
・平成23年度補正予算  
・景観計画  
・市暴力団排除条例  
・災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正  
議員定数検討協議会
- 29日 議会運営委員会  
産業建設委員会(所管事務調査)

## 9月

- 1日 9月定例議会開会  
全員協議会  
・防府市生涯学習推進計画  
広報編集委員会
- 2日 議会改革推進協議会
- 6日 水道事業決算特別委員会
- 8日 本会議(一般質問)
- 9日 本会議(一般質問)  
全員協議会  
・議会報告会での要望・意見等の課題整理
- 12日 本会議(一般質問)
- 13日 本会議(一般質問)  
議会運営委員会
- 14日 議員定数検討協議会  
議会改革推進協議会
- 15日 常任委員会(総務・教育民生・産業建設)
- 16日 産業建設委員会(所管事務調査)
- 20日 一般・特別会計決算特別委員会(総務)
- 21日 一般・特別会計決算特別委員会(教民)
- 22日 一般・特別会計決算特別委員会(産建)
- 26日 議会運営委員会  
全員協議会  
・環境基本計画  
・景観計画  
・国道2号台道交差点改良工事

- 27日 常任委員会(総務・教育民生)
- 29日 議会運営委員会
- 30日 9月定例議会閉会  
広報編集委員会

## 10月

- 4日 会派代表者会議
- 12日 議会運営委員会  
議会モニター委嘱状交付式及び研修会
- 17日 臨時議会  
空き家等対策協議会  
広報編集委員会
- 18日 議会運営委員会
- 19日 臨時議会  
議会改革推進協議会  
議会改革の視察受け入れ(愛知県安城市)
- 20日 教育民生委員会(所管事務調査)  
総合交通体系調査特別委員会
- 21日 総務委員会(所管事務調査)  
広報編集委員会
- 24日 議会改革の視察受け入れ(愛媛県四国中央市)  
広報編集委員会
- 26日 議会改革の視察受け入れ(福井県敦賀市)
- 27日 議会改革の視察受け入れ(長野県小布施町)

## 12月定例議会の予定

- 1日 本会議(開会)
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(一般質問)
- 9日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)
- 14日 常任委員会(総務委員会)
- 15日 常任委員会(教育民生委員会)
- 16日 常任委員会(産業建設委員会)
- 22日 本会議(閉会)

会議の開会時刻は、午前10時です。  
 なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。  
 詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL 25-2182

### 編集後記(表紙の説明)

秋の例大祭の前夜に行われる「春日神社の庭神事」は、平安もしくは鎌倉時代から伝わると言われている古くからの郷土の伝統神事です。

神殿前の庭燎のもとで執り行われる庭神事は、白足袋を履いた7人の少年たちが、竹座に紙を張った大蓮華と呼ばれる直径が約1mもある平笠を頭に被り、黒染の袴姿で踊る「田楽踊り」から始まる。

次に、大太鼓と笛に合わせて踊る「獅子舞」に移り、毛利家奉納の「翁の面」が入れているという黒漆紐付きの箱を、神宮が水平に奉持して舞場を逆廻りに3周、後見が拍手を打つうちに元の安置所に置く「翁渡り」へと続く。

この神事の前に、御祓いがあるが直後に直会が行われる。栗色の平木皿に、蒟蒻・蓮・牛蒡・昆布・小芋の煮しめ、それに水物と称する大根青菜の一夜塩漬と糯粉のオハゼが付き、茅の簀を使うという珍奇な献立であるが、これらの準備は、ご神幸の際の大榊・神幣・金幣持ちの3役の奉仕によって作られる。

ともに、300年以上もの歴史があると言われています。

(一部、防府市史料から引用)

### 議会広報編集委員会

- ◎山田耕治 木村一彦
- 田中健次 中林堅造
- 安藤二郎 松村 学

(◎)委員長、(○)副委員長